

地震・津波の心得

警報や避難情報を知っておこう！

津波注意報・警報について

	予想される津波の高さ		とるべき行動	想定される被害
	数値での発表 (発表基準)	巨大地震の 場合の表現		
大津波警報	10m超 (10m<高さ)	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台へ避難してください。津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。	木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。
	10m (5m<高さ≤10m)			
	5m (3m<高さ≤5m)			
津波警報	3m (1m<高さ≤3m)	高い	ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう！	標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。
津波注意報	1m (20cm≤高さ≤1m)	表記しない	海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近づいたりしないでください。	海の中では人は速い流れに巻き込まれる。養殖いかだが流失し小型船舶が転覆する。

町からの避難情報

●避難指示

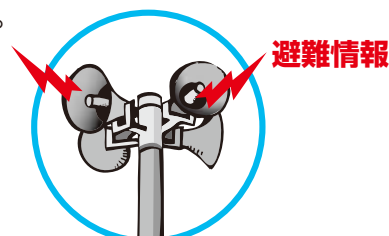
基準	避難対象地区
大津波警報が発表された場合	津波により浸水が想定される区域
津波警報が発表された場合	

●注意喚起

基準	避難対象地区
津波注意報が発表された場合	漁業従事者、沿岸の港湾施設等で仕事をする者、釣客等の海岸等の沿岸部

町からの情報伝達

避難指示等は、防災行政無線、緊急速報メール、Lアラート（NHK データ放送）等で住民の皆さんへ伝達いたします。



防災行政無線



住民の皆さん

津波警報・注意報と避難のポイント

マグニチュード8を超えるような巨大地震の場合は、「巨大」という言葉を使った大津波警報で、非常事態であることを伝えます。
「巨大」「高い」という言葉での発表は非常事態です。東日本大震災のような津波が来るとして、一刻も早く避難してください。



高い津波が来る前は、津波の高さを「観測中」として発表します。大津波警報や津波警報が発表されているときには、観測された津波の高さを見て、これが最大だと誤解しないように、津波の高さを数値で表さずに「観測中」と発表する場合があります。

※津波は何度も繰り返し襲ってきて、あとから来る津波の方が高くなる場合があります。

震源が陸地に近いと津波警報・注意報が津波の襲来に間に合わないことがあります。**強い揺れや弱くても長い揺れを感じたときは、すぐに避難を開始しましょう。**

津波は沿岸の地形などの影響により、局所的に予想より高くなる場合があります。**ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して避難しましょう。津波は長い時間繰り返し襲ってきます。津波警報・注意報が解除されるまでは、避難を続けましょう。**

地震発生後、予想される津波の高さが20cm未満で被害の心配がない場合、または津波注意報の解除後も海面変動が継続する場合には、「津波予報(若干の海面変動)」を発表します。

<東日本大震災の津波避難行動の教訓>

- 安全に避難するには**早期避難**が重要
- 避難の呼びかけ**や**率先避難**が避難をうながす要因になる
- 迅速に避難した人は、**津波襲来に対する意識が高い**
- 「家族を探す」「忘れ物をとりに自宅へ戻る」などの行動が**避難を妨げる**
- 車で避難した人の1/3が**渋滞に巻き込まれ**被害にあった